

## 第3学年西組 道徳科学習指導案

### 「目標を達成するために」

学習指導者 藤川 裕人

#### 1 学級（34名）の実態

##### （1）共に学びを進め合うことに関する学級の実態

質問紙調査では、「道徳科の授業で、分かった（分からなかった）理由を考えている」と答えた子供は20名であった。道徳科の授業では、「分かったこと、学び方、今後の生活に生かしたいこと」を振り返りの視点として共有しているが、振り返りの記述を見ると、多くの子供が「分かったこと」や「今後の生活に生かしたいこと」を書いている一方、学び方について振り返っている子供は少ない。

##### （2）本単元の学習に関する学級の実態

質問紙調査では、「今、目標をもっている」と回答した子供は34名であり、全員が学習や学校行事、習い事など、様々な場面での目標をもっていることが分かった。一方で、「その目標を達成するために大切なことは分かりますか」という問いに対して、「分かる」と回答した子供は10名であり、「あきらめないこと」「努力を続けること」「自分の得意なことを伸ばす」などと回答した。

#### 2 本単元で習得を目指す「振り返る」方法

学び方を振り返る

#### 3 本単元で目指す「共に学びを進め合う子供」の姿

全員が目標をもっていることや、目標を達成する困難さを共有し、人間には目標達成に向けた行動を続けられないこともあるという弱さに気付いた子供たちは、「そのような弱さに負けず自分の目標を達成したい」「目標を達成するために大切なことを考えたい」などと思いを高め、「目標を達成するために大切なことを見付けよう」という単元の目標を設定し、学習計画を立てる。

見通し場面では、単元計画を基に本時の目当てを設定する。さらに、目当てを解決するためにこれまでの学習で見付けた「道徳の学び方のポイント」の中から大切にしたい学び方を選び、学習の見通しをもつ。

解決場面では、登場人物の心情や困難を乗り越えられた理由を考えたり、友達と考えを話し合ったりすることで、目標を達成するために大切なことは何か考えていく。例えば、高橋尚子さんが諦めかけたときに、大丈夫と言い聞かせている時の気持ち考える際には、「高橋さんは諦めそうになった時『ここであきらめたら、今までの自分に負ける』って、自分に言い聞かせていたのかもしれない」「そうだね。これまでの練習を無駄にしたくないとか、応援してくれている人のために頑張りたいという気持ちが支えになったのかも」「それに、もう一度ゴールを目指して走る自分を想像して、『まだできる』って信じたのかもかもしれないね」などと、あきらめそうになったときの心の中にあつた支えや思いを想像しながら登場人物の心情に迫ることで、あきらめない気持ちをもつことの意味をより深く考えていく。その後、自分と重ね合わせ、「自分が苦しい時、どんなことが支えになったか」「どんな気持ちをもつと立ち直れたか」を考え、友達と交流することで、目標を達成するために大切なことを多様に捉えて、自己の生き方を考えていく。

振り返り場面では、「『自分だったらどうするか考える』という学び方をしたから、目標を達成するためにはあきらめそうになったときも、自分を信じる気持ちが大切だと分かった」などと目標を達成するために大切なことを記述するだけでなく、「道徳の学び方のポイント」を基にできた学び方についても振り返ることで、本時の学びをより正確に捉えていく。

このような学習を繰り返した子供たちは、自分の学び方を意識しながら学習をしたり、自分の目標を達成するために大切なことを意識しながら生活したりしていくだろう。

#### 4 達成意欲を高める目標共有の工夫 ①時

運動会や坂出市音楽会で目標を立て、その達成に向けて活動したことを確認した後、「今、目標はありますか」と問いかけたり、質問紙調査の結果を提示したりして全員が目標をもっていることや、どんな目標をもっているかを共有する。その後、これまでの活動を振り返りながら、目標に向かって取り組む中で困難なことがあったり、思うように続けられなかったりすることがあるという人間の弱さを共有し、その弱さに負けてしまうと目標を達成しにくくなることを実感できるようにする。最後に、3人の登場人物（高橋尚子さん・西川悟平さん・水木しげるさん）を紹介することで、「弱さや困難に負けず自分の目標を達成したい」「3人みたいに目標を達成するために大切なことを考えたい」などと思いを高め、「目標を達成するために大切なことを見付けよう」という単元の目標を設定する。

#### 5 単元計画と方法の習得の段階に合わせた手立て（本時 3/5）

次	単元計画	方法の習得の段階に合わせた手立て
一	<p>① <b>学活</b>目標について考えよう</p> <p>運動会や市の音楽発表会で目標の達成に向けて取り組んだ経験を振り返る。その後、今の自分の目標について考え、学級で共有する中で、お互いの目標や思い、その過程で感じた困難に気付く。そのような気付きから、目標を達成するためには思うように進めないこともあるという人間の弱さを実感し、三人の登場人物の生き方を紹介する中で、「目標を達成するために大切なことを考えたい」などと思いを高め、単元の目標を設定する。その後、困難や弱さと葛藤している期間（特定の場面・8年間・20年間）に違いがあることを確認し、時間の短い教材から順に学んでいき、最後には本単元を通した振り返りをするという学習計画を立てる。</p>	<p>【認知段階】</p> <p>これまでの道徳科の時間に道徳科で大切にしたい学び方を子供たちと共有しており、学習を振り返る際に「学び方を振り返る」という方法を教示している。その際、この方法を使うことで「大切にしたいことを見付けることができる」といったよさがあることも子供たちと共有している。</p>
二	<p>② 高橋選手の生き方から、目標を達成するために大切なことは何かを考えよう ～『すきなことから 高橋尚子物語』【A希望と勇気、努力と強い意志】～</p> <p>高橋尚子選手がオリンピックで追い抜かれそうになり心がくじけそうになった時の気持ちや、それを乗り越えられたのはなぜかを考えることを通して、目標を達成するためには、困難な状況にあってもあきらめないという強い意志が必要であることに気付き、これからの自分を見つめ直す。</p> <p>③ 西川さんの生き方から、目標を達成するために大切なことは何か考えよう ～『あきらめたらアカン』【A希望と勇気、努力と強い意志】～</p> <p>医者にピアノを弾くことができなくなった時の西川さんの気持ちや、あきらめずに努力を続けることができた理由を考えることを通して、目標を達成するためには、つらい現実を受け止めながらも前を向こうとする心の強さや、支えてくれる人への感謝、誰かの喜びを自分の力に変えることなどが大切であることに気付き、これからの自分を見つめ直す。</p>	<p>【想起段階】</p> <p>「今から振り返りの時間で」と場面の切り替わりを伝えることで、方法を想起できるようにする。方法が使えていない子供には個別に問いかけたり、方法を使っている子供に注目を促す声掛けをしたりすることで、方法を想起しやすくする。また、方法の文言やよさを掲示したり、道徳科の学び方のポイントを手元に置くようにしたりすることで、方法を想起しやすくしておく。</p>
三	<p>④ 水木さんの生き方から、目標を達成するために大切なことは何か考えよう ～『鬼太郎をかいたゲゲさん』【A個性の伸長】～</p> <p>いくら漫画を描いても売れなかった時の気持ちや、それでも漫画家として活躍できたのはなぜかを考えることを通して、目標を達成するためには、粘り強く努力を続けることだけでなく、自分の特徴を理解し、長所を伸ばすことも大切であることに気付き、これからの自分を見つめ直す。</p>	<p>【方法やそのよさを示す掲示物】</p> 
三	<p>⑤ <b>学活</b>自分の目標の達成に向けて、これから大切にしたいことを考えよう</p> <p>これまでの学びを振り返り、自分の目標を達成するために大切なことを考える。また、その実現に向けてこれからどんなことをしていけばよいかをワークシートに記述し、今後の自己の生き方について考えを深める。</p>	

6 本時の学習

ねらい 西川さんの気持ちや努力を続けられた理由を友達と話し合うことで、努力を続ける上で大切なことに気づき、目標を達成するために大切なことを考え、それを実践していこうとする態度を養う。

学習活動	主な子供の意識										
見通し 1 前時の学習を振り返り、本時の目当てを設定し、見通しをもつ。	<p>高橋さんは目標を達成するために、あきらめない気持ちをもっていたね。</p> <p>西川さんは病気にかかったのに、どうして目標を達成できたのかな。</p> <p><b>西川さんの生き方から、目標を達成するために大切なことは何か考えよう</b></p> <p>前の時間に「⑤友達の考えを聞く」 今日「⑦いろいろな立場に立って使ったから、今日も使おう。」</p>										
行動 2 医者にピアニストとして活動できないと言われた時の西川さんの気持ちについて考える。 (1) 個人または自由交流 (2) 全体交流	<p>ピアニストとして活動できないと言われた時、どんな気持ちになったのかな。</p> <table border="1" data-bbox="448 663 1418 875"> <tr> <td>西川さんは、ピアニストとして活動できないと言われて本当に信じられなかったと思う。</td> <td>今まで頑張ってきたのに、それが全部なくなつたみたいで、悔しかったと思う。</td> <td>西川さんは、ピアノを弾けないって言われて、「もう終わりだ」って思ったと思う。</td> <td>でも、心の中では「また弾けたらいいな」って少し思ったかもしれないね。</td> </tr> </table> <p>これからどうすればいいんだろうって、不安でいっぱいになったんじゃないかな。</p> <table border="1" data-bbox="448 875 1418 1088"> <tr> <td>そうだね。もう、自分の夢が遠くにいつてしまったような気持ちだったと思う。</td> <td>でも、現実を考えたら、その気持ちもすぐに消えてしまったんじゃないかな。</td> <td>そうだね。もうどうにもできなくて、ただ落ち込むしかなかったと思う。</td> </tr> </table> <p>西川さんの気持ちを考えると、とても悲しいね。</p>				西川さんは、ピアニストとして活動できないと言われて本当に信じられなかったと思う。	今まで頑張ってきたのに、それが全部なくなつたみたいで、悔しかったと思う。	西川さんは、ピアノを弾けないって言われて、「もう終わりだ」って思ったと思う。	でも、心の中では「また弾けたらいいな」って少し思ったかもしれないね。	そうだね。もう、自分の夢が遠くにいつてしまったような気持ちだったと思う。	でも、現実を考えたら、その気持ちもすぐに消えてしまったんじゃないかな。	そうだね。もうどうにもできなくて、ただ落ち込むしかなかったと思う。
西川さんは、ピアニストとして活動できないと言われて本当に信じられなかったと思う。	今まで頑張ってきたのに、それが全部なくなつたみたいで、悔しかったと思う。	西川さんは、ピアノを弾けないって言われて、「もう終わりだ」って思ったと思う。	でも、心の中では「また弾けたらいいな」って少し思ったかもしれないね。								
そうだね。もう、自分の夢が遠くにいつてしまったような気持ちだったと思う。	でも、現実を考えたら、その気持ちもすぐに消えてしまったんじゃないかな。	そうだね。もうどうにもできなくて、ただ落ち込むしかなかったと思う。									
行動 3 努力を続けることができた理由を考える。 (1) 個人または自由交流 (2) 全体交流	<p>それでもあきらめずに、8年間も努力を続けられたのはどうしてかな。</p> <table border="1" data-bbox="448 1223 1418 1435"> <tr> <td>西川さんは、子供たちが喜んでくれたことで、「また弾きたい」って思ったと思う。</td> <td>でも、それだけじゃなく、応援してくれる人がいたから、続けられたと思うよ。</td> <td>西川さんは、ピアノを前みたいに弾けなくても、今の自分にできることを探したと思う。</td> <td>できることが分かると、少し頑張ってみようって気持ちになるよね。</td> </tr> </table> <p>誰かに期待されると、もう少し頑張ってみようって思えるよね。</p> <table border="1" data-bbox="448 1435 1418 1603"> <tr> <td>私も、応援されたとき、しんどくても続けられたことがあるよ。</td> <td>それにしても、片手でも弾けるように工夫したのがすごいよね。</td> <td>私もうまくいかないときはやり方を変えるとやる気がでるんだ。</td> </tr> </table> <p>努力を続けられたのは、喜んでくれる人のために頑張りたいと思えたり、今の自分にできることを工夫したりしたからかもしれないね。</p>				西川さんは、子供たちが喜んでくれたことで、「また弾きたい」って思ったと思う。	でも、それだけじゃなく、応援してくれる人がいたから、続けられたと思うよ。	西川さんは、ピアノを前みたいに弾けなくても、今の自分にできることを探したと思う。	できることが分かると、少し頑張ってみようって気持ちになるよね。	私も、応援されたとき、しんどくても続けられたことがあるよ。	それにしても、片手でも弾けるように工夫したのがすごいよね。	私もうまくいかないときはやり方を変えるとやる気がでるんだ。
西川さんは、子供たちが喜んでくれたことで、「また弾きたい」って思ったと思う。	でも、それだけじゃなく、応援してくれる人がいたから、続けられたと思うよ。	西川さんは、ピアノを前みたいに弾けなくても、今の自分にできることを探したと思う。	できることが分かると、少し頑張ってみようって気持ちになるよね。								
私も、応援されたとき、しんどくても続けられたことがあるよ。	それにしても、片手でも弾けるように工夫したのがすごいよね。	私もうまくいかないときはやり方を変えるとやる気がでるんだ。									
振り返り 4 本時の学習を振り返る。	<p>②や⑤の学び方をしたから、努力を続けることも大切だと思ったよ。自分も練習をたくさんしたいな。</p> <p>⑦をしたから応援してくれる人の気持ちに気付くことが大切だと分かった。周りの人の気持ちを考えたいな。</p> <p>次は、水木さんについてだね。どんなことを大切にしていたか知りたいね。</p>										

評価 西川さんの気持ちや努力を続けられた理由を考えることを通して、目標を達成するために大切なことを多様に捉えている。さらに、学び方について、「道徳の学び方のポイント」を基に自己評価している。  
【方法：発言、様相、ワークシート】

## 7 本時の詳細

### ～見通し～ 学習活動1

補助黒板には、単元の目標と単元計画を掲示しておき、これまでの学びの中で見付けてきた「目標を達成するために大切にしたいこと」を想起できるようにしておく。本時では、学習計画を基に前時の活動の想起を促し、本時に行うことを問いながら目当てを設定する。その際、「どうしてこの勉強をするのですか」と問いかけることで、自分の目標の達成に向けてどうしたらよいか分かるということを表出し、本時の学習意欲を高められるようにする。さらに、「**道徳の学び方のポイント**」を基に、本時で意識したい学び方を子供に表出する場を設けることで、学び方を意識しながら学習に取り組めるようにする。

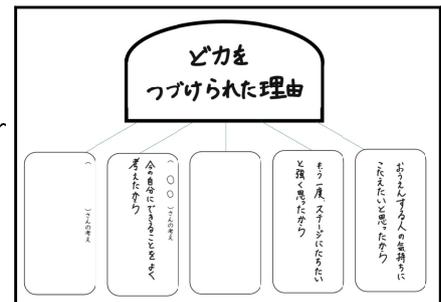
道徳の学び方のポイント	
<input type="checkbox"/>	① 大切だと思ったことや心に残ったことは何か考える。
<input type="checkbox"/>	② 新しく発見したことや気付いたことがあるか考える。
<input type="checkbox"/>	③ 自分にも似たような経験があるか考える。
<input type="checkbox"/>	④ 自分だったらどうするか考える。
<input type="checkbox"/>	⑤ 友達の考えも聞く。
<input type="checkbox"/>	⑥ 一つ考えができたら、他の考えはないかさがす。
<input type="checkbox"/>	⑦ いろいろな立場に立って考える。(例：自分、友達、主人公、まわりの人)

【道徳の学び方のポイント】

### ～行動～ 学習活動2・3

学習活動2では、事前読みで得た情報を基に、西川さんがピアニストとして活躍していたが病気により指を動かすことができなくなったことを確認する。その後「ピアニストとしてピアノを弾くことはできません」と言われたときの西川さんの気持ちについてワークシートに記述する場を設定する。自由交流では記述したことを基に話し合う場を設定することで、西川さんの気持ちについてより深く考えられるようにする。教師は、「できていたことができなくなるって、どんな感じだろう」「心の中はどんな色だったかな」などと問い返し、西川さんが感じた深い絶望や喪失感に気付けるようにする。

学習活動3では、西川さんがもう一度ピアニストとして活動できるようになるまで努力を続けることができた理由を考える。その際、クラゲチャートに理由を複数記述できるようにすることで、理由を多様に捉えられるようにする。また、友達の考えを書き込む欄を設けることで、交流を通して自分にはなかった考えに気づき、考えを広げやすくする。教師は、「西川さんはどうしてあきらめなかったのだろう」「自分だったら、どんなときにもう一度がんばれるかな」などと問い返し、登場人物の姿を通して自己の心を見つめたり、「道徳の学び方のポイント」のどれを使ったか問うことで、学び方を意識して学習できていることに気付いたりできるようにする。全体交流では、数名の子供に発表を促すことで、「あきらめないという気持ちを強くもったこと」「続けるための工夫をしたこと」「応援してくれる人の気持ちに応えようとしたこと」など、西川さんが目標に向かい続けることができた理由を多様に捉えられるようにする。その後、西川さんが演奏している動画を視聴する場を設け、西川さんの演奏が多くの人に感動を与えられる理由を問うことで、演奏の技術面だけでなく、西川さんの生き方にも目を向けられるようにし、振り返りの場面で自己の生き方について考えを深められるようにする。



【クラゲチャートの例】

### ～振り返り～ 学習活動4

単元を通して、一枚のワークシートに「①学び方」「②目標を達成するために大切にしたいこと」「③自分とのつながり」の三つの視点で振り返りを行っている。本時は、「今から振り返りの時間です」と場面の切り替わりを伝えることで、方法を想起できるようにする。想起が難しい子供がいる場合には、個別に声を掛け、学び方を振り返られている子供の姿を観察するよう促し、想起できるようにする。全体交流では、数名の子供に発表を促す。その際、どうしてその学び方を使ったのかという理由を問うことで学び方のよさを表出できるようにする。そして、「〇〇(学び方)をしたから、大切なことが見付かったんだね」と価値付けを行い、方法のよさを実感できるようにする。さらに、「⑤友達の考えを聞く」にチェックしている子供に対して、その学び方をしてよかったことを問いかけることで、協働のよさを実感できるようにする。最後に、次時に学習する水木さんの困難や置かれている状況を確認することで、本時考えたこととのずれを感じられるようにし「他にも目標を達成するために大切なことがあるかもしれない」などと次時の意欲を高められるようにする。